

平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年2月13日

上場会社名 カワセコンピュータサプライ株式会社 上場取引所 大
 コード番号 7851 URL http://www.kc-s.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名) 羽山 政彦
 (役職名)常務取締役営業本部長 (氏名) 川瀬 康平 (TEL)06(6222)7474
 問合せ先責任者 兼最高財務責任者
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	2,618	6.6	23	—	50	—	29	—
23年3月期第3四半期	2,456	△10.0	△38	—	△40	—	△69	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	6 07	— —
23年3月期第3四半期	△14 40	— —

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	4,583	3,505	76.5
23年3月期	4,619	3,530	76.4

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 3,505百万円 23年3月期 3,530百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	— —	0 00	— —	10 00	10 00
24年3月期	— —	0 00	— —		
24年3月期(予想)				10 00	10 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,500	8.3	11	—	29	—	60	—	12 44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

24年3月期3Q	5,160,000株	23年3月期	5,160,000株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

24年3月期3Q	321,760株	23年3月期	321,281株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

24年3月期3Q	4,838,516株	23年3月期3Q	4,838,984株
----------	------------	----------	------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) セグメント情報等	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) 重要な後発事象	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの立ち直りが予想以上のペースで進み、生産や輸出は概ね震災前の水準に回復するなど、持ち直しの動きは続いておりますが、欧州金融危機の影響による世界経済の減速や歴史的な為替円高の進行により、景気の先行きは引き続き不透明な状況となっております。

ビジネスフォーム業界におきましても、オフィスのデジタル化やコスト削減による総需要量の減少が続き、その中で価格競争が激化するなど厳しい環境が続きました。

このような状況下、営業におきましては、厳しい環境下においても成長を続ける通販業界の開拓や既存取引先の需要掘り起こし及び中央官庁をはじめ市区町村、外郭団体へのアプローチを中心に活動いたしました。

当第3四半期累計期間の業績は、売上高が2,618百万円（前年同期は2,456百万円の売上高）、経常利益50百万円（前年同期は40百万円の経常損失）、四半期純利益29百万円（前年同期は69百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① ビジネスフォーム事業

景気の低迷による総需要量の減少および価格競争の激化の影響により、売上高1,685百万円（前年同期は1,745百万円の売上高）、セグメント利益は129百万円の利益（前年同期は80百万円の利益）となりました。

② 情報処理事業

金融関連の需要減の影響はありましたものの、幅広く新規案件獲得に向け活動を行いました結果、売上高932百万円（前年同期は711百万円の売上高）、セグメント利益は163百万円の利益（前年同期は182百万円の利益）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期会計期間における流動資産は前事業年度末と比べ54百万円増加し、2,453百万円となりました。これは主に「定期預金」の50百万円を短期のものへ変更したことで「現金及び預金」が34百万円増加し、その他「受取手形及び売掛金」が62百万円増加しており、これに「有価証券」が71百万円減少したことによるものです。固定資産は前事業年度末と比べ90百万円減少し、2,130百万円となりました。これは主に「投資その他の資産」に含まれる「投資有価証券」が50百万円、「保険積立金」が12百万円それぞれ増加し、「有形固定資産」が103百万円減少したことによるものです。

流動負債は前事業年度末と比べ19百万円増加し、808百万円となりました。これは主に「買掛金」が32百万円、「その他」に含まれる「未払金」が24百万円それぞれ増加し、「短期借入金」が30百万円減少したことによるものです。固定負債は前事業年度末と比べ29百万円減少し、269百万円となりました。これは主に、「その他」に含まれる「リース債務」が32百万円減少したことによるものです。

純資産の部は前事業年度末と比べ25百万円減少し、3,505百万円となりました。これは配当金支払いの48百万円と四半期純利益29百万円の計上により、「利益剰余金」が19百万円減少したことによるものです。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の業績見通しにつきましては、売上高は3,500百万円、営業利益は11百万円、経常利益は29百万円、当期純利益は60百万円を見込んでおります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項につきましては、平成24年2月13日の公表の当社「通期業績予想の修正に関するお知らせ(非連結)」をご覧ください。

2. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,688,147	1,723,008
受取手形及び売掛金	524,189	586,681
有価証券	71,601	—
商品及び製品	36,713	40,712
仕掛品	13,819	16,288
原材料及び貯蔵品	34,403	32,371
その他	30,142	54,684
貸倒引当金	△111	△126
流動資産合計	2,398,905	2,453,619
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	499,392	463,263
土地	539,125	533,457
その他(純額)	577,936	516,188
有形固定資産合計	1,616,454	1,512,909
無形固定資産	111,764	111,545
投資その他の資産	492,477	505,663
固定資産合計	2,220,696	2,130,118
資産合計	4,619,601	4,583,737
負債の部		
流動負債		
買掛金	163,118	195,146
短期借入金	436,640	406,640
未払法人税等	11,153	8,643
賞与引当金	42,988	23,206
その他	135,519	174,908
流動負債合計	789,419	808,545
固定負債		
長期借入金	13,360	8,380
退職給付引当金	35,153	38,599
役員退職慰労引当金	24,026	28,197
その他	226,903	194,632
固定負債合計	299,443	269,809
負債合計	1,088,863	1,078,354

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,226,650	1,226,650
資本剰余金	1,172,655	1,172,655
利益剰余金	1,216,571	1,197,556
自己株式	△80,126	△80,211
株主資本合計	3,535,750	3,516,650
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△5,012	△11,267
評価・換算差額等合計	△5,012	△11,267
純資産合計	3,530,738	3,505,383
負債純資産合計	4,619,601	4,583,737

(2) 四半期損益計算書
第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	2,456,914	2,618,566
売上原価	1,855,081	1,949,787
売上総利益	601,833	668,779
販売費及び一般管理費	640,370	644,887
営業利益又は営業損失(△)	△38,537	23,892
営業外収益		
受取利息	2,277	811
受取配当金	1,717	3,597
助成金収入	16,319	30,282
その他	12,699	12,501
営業外収益合計	33,014	47,193
営業外費用		
支払利息	10,671	10,794
投資有価証券評価損	18,832	6,462
その他	5,365	3,309
営業外費用合計	34,870	20,567
経常利益又は経常損失(△)	△40,392	50,518
特別利益		
固定資産売却益	5,622	435
貸倒引当金戻入額	11	—
特別利益合計	5,633	435
特別損失		
固定資産除却損	4	1
固定資産売却損	—	6
投資有価証券売却損	278	—
投資有価証券評価損	12,655	8,882
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	4,159	—
損害賠償金	5,944	5,896
その他	405	—
特別損失合計	23,447	14,787
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△58,205	36,166
法人税、住民税及び事業税	6,458	6,794
法人税等調整額	5,009	—
法人税等合計	11,467	6,794
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△69,673	29,371

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益計算 書計上額 (注) 2
	ビジネスフォー ム事業	情報処理事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,745,101	711,812	2,456,914	—	2,456,914
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,745,101	711,812	2,456,914	—	2,456,914
セグメント利益	80,372	182,272	262,644	△301,181	△38,537

(注) 1. 「調整額」の区分は全社費用を記載しております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、財務諸表の営業損失と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益計算 書計上額 (注) 2
	ビジネスフォー ム事業	情報処理事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,685,825	932,741	2,618,566	—	2,618,566
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,685,825	932,741	2,618,566	—	2,618,566
セグメント利益	129,020	163,439	292,460	△268,568	23,892

(注) 1. 「調整額」の区分は全社費用を記載しております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、財務諸表の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

従来、ビジネスフォーム事業での帳票印刷後、情報処理事業でデータ印字をする場合、売上高及び売上原価を全て情報処理事業で計上していましたが、第1四半期累計期間より、各事業のセグメント利益をその製品及びサービス内容に応じてより明確に管理するため、それぞれのセグメントの売上及び売上原価として把握し、管理する方法へと変更しております。また、従来、営業費用は全て各事業に配分していましたが、本社管理部門費用については、全社で負担することで、各事業セグメント利益をより適切に管理する方法へと変更しております。

なお、前第3四半期累計期間のセグメント情報についても、当第3四半期累計期間のセグメント情報と同様の測定方法により作成し直しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。